

青武台だより

No.209

平成28年4月3日発行

目 次

ページ



1. 新年度を迎えて

| | |
|--------|---|
| 校長から | 2 |
| 教務主事から | 3 |
| 学生主事から | 3 |
| 寮務主事から | 4 |
| 専攻科長から | 4 |

2. 学年はじめにあたって

| | |
|----------|---|
| 図書館長から | 5 |
| 学生相談室長から | 5 |

3. 新入生を迎えて

| | |
|------------|---|
| 専攻主任から | 6 |
| 第一学年学級担任から | 7 |

4. 学園通信

| | |
|----------------------|---|
| 平成27年度 第3回 学生表彰受賞者一覧 | 9 |
|----------------------|---|

5. 平成28年度行事予定表

| | |
|-------------|-------|
| 平成28年度行事予定表 | 10~11 |
|-------------|-------|

新年度を迎えて



入学おめでとう

校長 松田 理

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

高専は、中学卒業後の早い段階から5年一貫、専攻科も含めれば7年一貫の専門教育を行う高等教育機関であり、創造性豊かな実践的技術者を育成することが最大の使命であります。

福井高専は1965年に創立され、昨年50周年を迎え、今年は新たなる半世紀の一歩を踏み出すところであります。この間の卒業生ならびに専攻科修了生は約8000名となり、産業界や地域社会の様々な分野で活躍し、国内外から高く評価されています。これからも、自然環境や人間環境に配慮でき、国際性を有した高度で優秀な技術者人材を育成すべく学生教育を進めていきます。

この伝統ある福井高専に入学された皆さんに、本校での心構えについて述べさせていただきます。

第1に、「自学自習の習慣を身につけること」です。皆さんは、義務教育を終え自らすんで技術者の道を歩もうとして入学してきたと思います。従って、教育を受ける「生徒」ではなく、学問を修める「学生」なのです。自らの主体性をもって学ぶことに心がけて欲しいと思います。

第2に、「自分を律すること」の重要性を指摘したいと思います。即ち、何が正しいのか、何が間違っているのかを社会規範に立って考え、たとえ一人であっても勇気ある言行動きをとつて欲しいのです。仲間を大切にするあまり、付和雷同し軽佻浮薄な行動をとることのないようにしてください。どんな状況においても責任ある行動が求められます。福井高専に対する帰属意識と高等教育を学ぶ学生としての自覚と誇りを持ってください。

第3に、「個性を磨くこと」です。個性とは、英

語で言えばアイデンティティですが、これからのグローバル化の時代では、特に重要と言えます。即ち、君たちは今、自分がどういうところで社会に役に立てるのか、まだ気づいていない人がほとんどだと思います。それを本校での学びや課外活動などの学生生活を通して考えて欲しいのです。

技術者としての考え方や知識に加え、生きて行く価値観や職業観は、人生や社会における自分の役割を決定するために非常に重要なものです。個性の確立はそのためにも不可欠と言えるのです。従って、様々な考え方を持つ学友とお互いに議論し、切磋琢磨しながら成長して欲しいと思います。また同時に、他人の個性を尊重して下さい。合わないからと言って無視したり、排他的になるのではなく、理解するよう努めましょう。他人に学ぶことは多いものです。

第4に、専門分野の技術者として、幅広い教養を持ちコミュニケーション力のある国際人を目指して下さい。「技術系だから文系の知識が不要」と尤もらしい持論を振りかざすのではなく、専門以外の分野にも興味を抱き、知識を広げ、感性や気づく力を磨いて欲しい。人間一生勉強です。しかも物事は一朝一夕には進みません。精神的に逞しく、地道に粘り強く、継続的に取り組むことが大切です。そして、技術者人材としての基礎を築き、才能を開花させて下さい。そのことが将来の技術立国日本を背負う力になると考えます。

最後になりましたが、皆さんには高い倫理観を持った人間に育つとともに、各人の夢の実現に向けて、頑張ってくれることを期待しています。

新年度を迎えて

新年度を迎えて



学ぶ心

教務主事 阿部 孝弘

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。エンジニアを目指して福井高専に入学をしてきた皆さんに次の言葉を送ります。

「学ぶ心さえあれば、万物すべてこれわが師である。」

これは松下幸之助の言葉です。この後には以下のように続きます。

語らぬ石、流れる雲、つまりはこの広い宇宙、
この人間の長い歴史、

どんなに小さいことにでも、
どんなに古いことにでも、

宇宙の摂理、自然の理法がひそかに脈づいて
いるのである。

そしてまた、人間の尊い知恵と体験がにじんで
いるのである。

これらのすべてに学びたい。

これは私が何気なく手に取った本に挟まれていた
葉に書かれていたものですから、ここでは私なりの
解釈をして送ります。

技術は古代から、社会の要請があって、その時その地に暮らしている人たちの生活を豊かにするために受け継がれ、発展してきています。現在、デジタル化された情報が数限りなくありますが、これらの情報の源をたどれば、地球と人間社会です。地球と人間をよくしたいという気持ち（学ぶ心）を念頭にして、デジタル化された情報に惑わされることなく、知的好奇心を持ち、創造性豊かなプロフェッショナル・エンジニアを目指して社会にはばたくために、福井高専での勉学に励んでください。



新年度を迎えて -自分を守ることに主体的たれ-

学生主事 辻子裕二

突然ですが、大地震が発生したとき、まず取るべき行動は何でしょうか。ずっと前に防災を学んだ人は「火を消す」と答えることが多いようです。現在、この回答は最適解とされません。「自分の身を守る行動をとる」ことが優先されます。いまの防災では、自助：共助：公助=7:2:1の考え方があります。全体的な被害を軽減するには、まず「自分で自分の身を守ること（自助）」が最重要であり、「互いに助け合うこと（共助）」、「公的機関の支援を得ること（公助）」と続きます。

自己主張よりも謙虚さを重んじるこの国の特性もあり、“自分のため”の行動は控え、後回しとすることが多かったかもしれません。しかし、その主体的行動こそが結果として総体的な価値産むことにもなることを、改めて考えて欲しいのです。ともすれば、そのことが、

「“何のために”学ぶのか」

「“誰のために”学ぶのか」

という、やや哲学的でもあるこの問いの解に到達するヒントになるかとも思います。

新年度を迎えるにあたり、自分を守ることの意義を見つめ直すことを通じ、改めてクラスメート、保護者、周囲をとりまく人々、大袈裟に言えば、日本を含めた世界との関係を考えるきっかけとなることを期待しています。



新年度を迎えて



新年度を迎えて

寮務主事 中 谷 実 伸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また同時に、学生寮に今期から加わる新入寮生の皆さんの入寮を歓迎します。

福井高専の学生寮は、230名を超える寮生が一緒に生活を送る空間です。共同生活を円滑に送るために、たくさんの規則やルールがあったり、当番の仕事があったりします。そういう意味では、校舎近くにある便利な簡易宿泊所というわけではありません。また、自分の身の回りの掃除や洗濯を誰かがしてくれるわけではありませんし、毎朝誰かが優しく起こしてくれることもありません。すべて自分自身で行わなければなりません。そういう意味では、旅館やホテルとも違うものです。

学生寮で生活するためには、しっかりと規則やルールを守り、人任せではなく、自分自身で自覚を持った行動をとらなくてはならないということです。

しかし、それは、寮に限ったお話ではありません。ルールを守ること、そして自覚を持った行動をとることは、皆さんのがこれからこの学校で学生生活を送るために、とても大切なことでもあるのです。

入学はゴールではなく、スタートです。新生活が充実したものになることを願っています。



新年度を迎えて —異分野往還—

専攻科長 藤田 克志

分子生物学者の福岡伸一氏が「福岡伸一の動的平衡」というコラムを新聞に連載しています。3月10日付けの記事は、文系・理系の話でした。この記事に眼をとめたのは、高校生の娘が文系・理系を決める際に随分と戸惑っていたこと、大学のオープンキャンパスと研究所ツアーに参加して、「やっぱり、文系・理系ってあんまり関係ないわ」という感想を述べたことを思い出したからです。

コラムの結論は「つまり文系・理系を言う前に、人はまずナチュラリストであるべきだということ。そして異なる分野をいつでも自由に往還できる通路を教育の場に作ること」というものでした。前半はまさに娘の感想と通じるものがありますし、わたしにとってはあたりまえのことです。それよりも、わたしが立ち止ったのは後半の方です。

異なる分野を往還する。まさに専攻科の中で学生諸君が行っていることではないか、とわたしは思ったのです。専攻科は、異なる分野の学生が集結し、デザインマインドを駆使して様々な事柄に取り組むことの出来る通路=教育の場です。専攻科の学生諸君はこのことを常に意識し、毎日の学校生活を送つて欲しいと考えます。



学年はじめにあたって

学年はじめにあたって



福井高専図書館によこそ！

図書館長 吉田三郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。福井高専図書館は、一昨年春には改修を終えて、今までより明るく、一層利用しやすい環境となりました。近々クラス別に図書館活用のオリエンテーションも開かれますが、待つ必要はありません。興味のある人は今日からでも来てみてください。平日は午後8時まで、そして土曜日も開いています。

高専の図書館には県内の大学や公立の図書館とのネットワークがあります。館内約11万冊の蔵書の利用だけでなく、たとえば読みたい書籍が福井県立図書館にあることがわかれれば、高専のカウンターで申し込むだけで、わざわざ福井市に出向かなくても貸し出し、返却が可能です。また、高学年になって卒業研究などで専門の研究論文の検索が必要な際には、その窓口にもなっています。

特色ある行事としては、各クラスの図書委員を中心として、年2回の「ブックハンティング」を実施しており、書店やOnlineで、読みたい書籍を直接購入できる機会も設けています。各学科の専門書や資格試験の勉強にも使える本、読みやすい洋書をそろえたコーナーの他に、今年話題になっている本まで学生の興味や関心に直結した書籍も書棚に見つけることができると思います。それらも是非見て確かめてください。ややマニアックな専門誌もあります。

図書館には閲覧室の他に、パソコンコーナーやメディアコーナーなど、インターネット利用、DVDやBlu-rayソフトの鑑賞などもできるスペースもあります。本校の名画DVDのライブラリーからも意外な発見があるかもしれません。

図書館とは本来静かに読書、勉強を行なう空間ですが、数名規模の小グループでの試験勉強やレポート作成が行なえる部屋もあります。また2階のコミュニティホールでも、自由に組み合わせの出来るテーブルを活用する上級生の姿を見ることができます。いかがですか。新入生の皆さん、1日も早く、福井高専図書館を有意義に活用されることを願っています。



学生相談室を利用してください

学生相談室長 坪川武弘

新しい年度を迎えて、学生の皆さんにあらためて相談室の利用を呼びかけたいと思います。相談室、保健室は学生の皆さん的心と体の健康の維持と向上のために、個別の相談やアンケートなど様々な取り組みを行っています。気軽に利用してください。

福井高専の位置する丹南地域は四季折々の変化が美しい土地です。時間を見つけて自然を散策するのもいいかと思います。木々の間を歩いていると上から葉や水滴が落ちてきたり、足元にも見慣れない生き物が出てきて驚かされることがあります。自然の中で暮らしてきた人類はいつも突然の事件の中で右往左往し、経験していない出来事に苛まれながら生きながらえてきたのだということを読んだことがあります。太古の人類も、初めて遭遇した事件やきびしい環境には、驚きを感じ、立ち止まりどうしていいか分からなかったに違いありません。現代社会に生きる私たちも、様々な新しい環境や状況の変化に遭遇し、やはり多くのストレスを感じています。

皆さんは、今までの経験や考え方だけでは処理しきれないように思えることにこれからはたくさん出会うもの、と考えておいて下さい。そのような時には、自分を客観視して冷静に考えることが大切なのでしょうが、なかなかそうもできません。家族や周囲の人と意見交換をしアドバイスを受け、対処方法を考えることになります。その際に、私たち教職員に相談することを是非選択肢の1つとして下さい。

相談室には、専門のカウンセラーまたは相談室担当教員が待機しています。相談内容は原則として守秘としています。また、電話やメールでの相談も受け付けています。年度の最初に配布する案内を見てください。気軽に相談してください。



新入生を迎えて

新入生を迎えて 専攻主任から



○ 中身の濃い2年間を ○

生産システム工学専攻主任
西 仁 司

専攻科に入学された学生の皆さん、おめでとうございます。本科に比べると、専攻科は2年という短い期間であり、また一学年の人数もぐっと少なくなっています。その分、高専という教育機関のいいところが凝縮されています。

何といっても勉強するためのリソースがとても充実しています。学生の人数が少ない分、授業や実験を行う際の教員一人に対する学生の数も少なくなります。特に研究に際しては、系ごとの学生数と教員の数が同程度という非常に恵まれた環境です。多くの先生方の意見やアドバイスをもらいながら研究を進めることができます。

また、キャリア形成するための様々な活動が用意されています。1年次には1か月という長い期間のインターンシップを行うことになっており、企業や大学で本格的な研究・開発を体験することができます。この他、国際学会で発表する専攻科生もあり、それらを支援する体勢が整っています。

そして修了後の進路の多様性も本科同様です。企業などに就職して社会で自分の力を発揮する選択肢もあれば、大学院へ進んで研究に打ち込むという選択肢もあります。

専攻科の2年間は、本科5年間以上に各自が成長できる時間です。それを活かし、高い志を持って日々の勉学、研究に取り組んで下さい。



○『Planning』○

環境システム工学専攻主任
吉 田 雅 穂

専攻科ご入学おめでとうございます。本科5年間の課程を終え、新たな気持ちで本校の門をくぐったことと思います。

昨年のRugby World Cupでの日本代表の活躍は知っていますよね。世界の強豪国South Africaからの勝利や予選Poolでの3勝。これは偶然の結果ではなく、4年前に日本代表Head Coachに就任したEddie Jones氏が設定したGoalに向けた綿密な"Planning"の成果でした。君たちの2年後のGoalは何ですか？そのためのPlanningはできていますか？

つぎに、選手の"Mindset"を変えたこと。どうせ無理だからという日本人のNegativeな発想を覆しました。そして、"Japan Way"。日本人の強みを把握してそれを最大限に生かす戦略を立て、徹底的に練習しました。あなたの強みは何ですか？それを最大限に生かすために何をしようと考えていますか？

自問自答できないならば、身近な我々が相談相手になります。この入学の瞬間、新たなStageでの2年間をしっかりとPlanningすることで、2年後の君たちは随分と違う人間に成長していることでしょう。Break a leg!



新入生を迎えて

新入生を迎えて 第一学年学級担任から



○ 新入生の皆さんへ ○

F1クラス担任
山田 哲也

ご入学おめでとうございます。夢や希望に満ち溢れた皆さんとお会いできて担任としても嬉しい限りです。これから1年間、皆さんと一緒に明るく楽しく、そしてけじめのあるクラスにしていけたらいいと思います。

さて、福井工業高等専門学校は「工学技術者を育てる」学校です。普通の高校とは違い、より深い専門的な知識を座学と実習を通して学びます。当然中学校の時に比べて、学習の質そして量も増えるので、初めのうちは色々と戸惑うことがあるかもしれません。また、学校生活において楽しいこと、辛いこと、失敗することもあるかもしれません。でも心配することはありません。この学校には、親身になって皆さんと支えてくれる先生や先輩、そして仲間があります。そのような支えを受けながらこの学校を卒業する時に、皆さん1人1人が次のステップに踏み出す自信を持てれば、私にとってこれほど嬉しいことはありません。ですので、何か困ったことがあったら、気軽に声をかけて下さい。

それでは、皆さんのこれから的学生生活が順調にスタートできるよう、1年間頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



○たかが国語、されど国語○

F2クラス担任
清島 絵利子

新入生のみなさん、福井高専へのご入学おめでとうございます。受験勉強から解放され、新生活への期待と不安が入り混じっていることと思います。本校に入学されたということは、将来の夢や目標はお持ちでしょう。しかし「国語」に対しては、苦手意識があるのではないか。国語（日本語）は、物事を思考判断するための重要な言語です。決して侮ってはいけないものなのです。

私事になりますが、教員になる前は北陸地方のある企業で会社員として勤務し、社員教育に携わっていました。企業では、どれだけ優れた知識や技術を持っていても、コミュニケーション能力が欠けていては、一人前の企業人として認められない現実があります。人の気持ちに配慮したことば遣いや行動がとれて、仕事もできることが当然です。

そこで国語（日本語）を上手に運用できる力が重要となります。読書が苦手でも、テレビのニュースやドラマの登場人物の会話を聞いて、ことば遣いについて興味を持つことはできるはずです。たかが国語、されど国語です。自分の人間性を高めるツールです。楽しく学んでいきましょう。



新入生を迎えて



○大人への階段としての5年間○

F3クラス担任
伊勢光

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。F3担任の伊勢です。今年で32歳ですので皆さんとはちょうどダブルスコア、2倍の人生を歩んでいることになります。

さて、私にはこの4月に高校に入学する従妹がいます。私が高校1年の時に生まれました。その時、ちょうど妹がほしかった私はすぐに病院に飛んでいき、叔母さんに頼んで生まれたばかりの赤ん坊を抱かせてもらいました。その時の写真が今も実家に残っていますが、生まれての赤ん坊は頼りなげ今にも壊れそうでした。私の腕に抱かれるなりワンワン大声で泣き出して、困ってしまったのをよく覚えています。

そんな赤ん坊だった従妹も4月から高校生。この前会ったらすっかり大人になっていました。時の流れは、そして子供が大人になるのは、本当に早い……。恐らく皆さんの親戚、親御さんも皆さんを見てそう思っていると思います。

ただ、時の流れだけで子供は真の大人になれるわけではありません。たとえ身体だけ大きくなってしまっても、そのメッキはいとも簡単にはがれます。今、皆さんの前にあるこの5年間は、特に大事だと思って下さい。高専での5年間をどう過ごすかによって社会に出た時に一人前の大人として遇してもらえるかどうか決まってきます。高専生活の健闘を祈ります！



○自分を客観視すること○

F4クラス担任
東章弘

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは入学に際してさぞ夢や希望をふくらませ、期待に満ち溢れていることと存じます。福井高専には皆さんの期待に応えることのできる学習環境が十分に用意されています。しかし、その中でどのような目標をかけ、それを達成しようとするのか。皆さんにとっての「自己実現」はとても大事なことです。そのためには、いろんな節目での自己評価が不可欠です。自分のことはよくわかっているつもりでも見えていないことは多々あるものです。自分をときどき客観視し、自己評価をするとき、自分自身の問題点や課題がよくみえてきます。それらをひとつひとつ克服することが皆さんにとっての成長につながります。それは勉強だけのことではありません。

一方、自分を客観視しながら自分を大事にしていくということは、他者への理解にもつながります。工学的な興味、関心、それに関連する学習にとどまらず、課外活動や学外での活動において見識を広め、自己実現を図りつつ、他者にも思いやりのある人となってほしいと思います。人間的成長を第一義として意義ある五年間を過ごしてください。



新入生を迎えて・学園通信



○「分からない時には、聴く勇気を！」○

F5クラス担任
岡 本 拓 夫

ご入学、おめでとうございます。“ナマズ”おじさんです。唐突ですが、アンパンの主題歌に、「何のために生まれて、何をして生きるのか」、というフレーズがあります。これは、もう、哲学です。君達は、希望を持って福井高専に入学したはずです。が、希望って、何だろうか？小生は、希望こそが上のフレーズの答えだと思っています。君達は、「何をして生きるのか」のヒントを福井高専に見つけに来た、と小生は考えています。福井高専という名のフィールドで、是非、素晴らしい「何をして生きるのか」のヒントを、見つけ出して下さい。福井高専という環境が、必ず、君達にメッセージを示してくれるはずです。そのためには、“聴く勇気”が必要です。小生は縁があって、今年一年、F5の諸君のサポートをする事になりました。小生の経験（「不動如山」の真実を確かめる）を活かし、F5の諸君の夢の発見のお手伝いができれば、と考えています。また、自分の命は自分で守る（自助）の重要性も気付いてほしい、と思っています。それでは、今年一年、宜しく！

— チイサイ・ジシ NSK —

平成27年度
第3回 学生表彰受賞者一覧

☆校長特別賞

5年間通して学業成績優秀者

| 学 科 ・ 学 年 | 氏 名 |
|-----------|---------|
| 機械工学科5年 | 石 橋 健 太 |
| 電子情報工学科5年 | 千 葉 大 輝 |
| 物質工学科5年 | 北 代 祐 椹 |
| 物質工学科5年 | 飛 奈 優 花 |
| 環境都市工学科5年 | 橋 本 芹 菜 |

☆校長賞

1年間学業成績優秀者

| 学 科 ・ 学 年 | 氏 名 |
|-----------|---------|
| 機械工学科5年 | 松 村 修 杜 |
| 物質工学科5年 | 桂 田 康 平 |
| 物質工学科5年 | 高 山 曜 生 |

その他の課外活動において優秀な成果

第9回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト
(プレゼンテーション部門)

| 学 科 ・ 学 年 | 氏 名 |
|-----------|---------|
| 環境都市工学科5年 | 高 嶋 秀 樹 |

(学科・学年は、平成27年度のものです。)



平成28年度行事予定表

◆◆◆ 平成28年度 行事予定表 (前期) ◆◆◆

| 4月 | | | 5月 | | | 6月 | | |
|------|--|--|------|-----------------------|--|------|---|--|
| 1 金 | 春季休業 (~3日) | | 1 日 | 閉寮 | | 1 水 | | |
| 2 土 | | | 2 月 | 休業(昭和の日の代替) | | 2 木 | | |
| 3 日 | 入寮式(10:30) 新入寮生オリエンテーション(11:00) 開寮(14:00) | | 3 火 | 憲法記念日 | | 3 金 | 休業(予備日) 高校春季総体県予選 大学院研究室訪問(専攻科1年) | |
| 4 月 | 入学式(10:00) H・R(11:00) 教科書販売(13:00) 教育後援会総会(12:00) 保護者懇談会(13:30) | | 4 水 | みどりの日 | | 4 土 | 高校春季総体県予選 | |
| 5 火 | -齊健徹診断(本科・専攻科) 専攻科オリエンテーション 課題確認テスト HR | | 5 木 | こどもの日 | | 5 日 | 高校春季総体県予選 | |
| 6 水 | 前期授業開始 | | 6 金 | 休業(4/30(土)の代替) | | 6 月 | | |
| 7 木 | | | 7 土 | | | 7 火 | | |
| 8 金 | | | 8 日 | 開寮 | | 8 水 | 前期中間試験 | |
| 9 土 | | | 9 月 | | | 9 木 | 前期中間試験 | |
| 10 日 | | | 10 火 | | | 10 金 | 前期中間試験・前期中間まとめ | |
| 11 月 | | | 11 水 | 授業終了後HR大掃除 | | 11 土 | | |
| 12 火 | | | 12 木 | | | 12 日 | | |
| 13 水 | (短縮授業) 放課後:新入生歓迎会 クラブ紹介 | | 13 金 | (短縮授業)(キャンパスウォーク準備) | | 13 月 | 前期中間試験 | |
| 14 木 | 新入生オリエンテーション合宿 | | 14 土 | キャンバスウォーク | | 14 火 | 前期中間試験・前期中間まとめ(特別活動・卒研を含む) | |
| 15 金 | 新入生オリエンテーション合宿 | | 15 日 | 舞鶴高専交歓試合 | | 15 水 | | |
| 16 土 | | | 16 月 | | | 16 木 | | |
| 17 日 | | | 17 火 | | | 17 金 | | |
| 18 月 | | | 18 水 | | | 18 土 | | |
| 19 火 | | | 19 木 | | | 19 日 | | |
| 20 水 | 放課後:校長表彰・校長訓示 学生総会 | | 20 金 | | | 20 月 | | |
| 21 木 | | | 21 火 | 寮祭 | | 21 火 | | |
| 22 金 | | | 22 日 | 寮祭 | | 22 水 | 壮行会 | |
| 23 土 | | | 23 月 | | | 23 木 | | |
| 24 日 | 開校記念日 | | 24 火 | | | 24 金 | | |
| 25 月 | | | 25 水 | | | 25 土 | 北陸地区高専体育大会(ラグビー)(富山高専) 専攻科学力選抜 | |
| 26 火 | | | 26 木 | | | 26 日 | | |
| 27 水 | | | 27 金 | | | 27 月 | | |
| 28 木 | 午後:休講 体育祭準備 | | 28 土 | 専攻科推薦選抜 | | 28 火 | | |
| 29 金 | (昭和の日) 体育祭(延期の場合は 短縮授業) | | 29 日 | | | 29 水 | | |
| 30 土 | (体育祭予備日) 金曜日の授業 | | 30 月 | | | 30 木 | | |
| | | | 31 火 | | | | | |
| 7月 | | | 8月 | | | 9月 | | |
| 1 金 | | | 1 月 | 本科・専攻科期末試験 | | 1 木 | | |
| 2 土 | 北陸地区高専体育大会(福井高専) | | 2 火 | 本科・専攻科期末試験 救命救急講習会 | | 2 金 | | |
| 3 日 | 北陸地区高専体育大会(福井高専) | | 3 水 | 授業終了後HR大掃除 | | 3 土 | 全国高等専門学校体育大会(バスケットボール)(鳥羽商船) | |
| 4 月 | | | 4 木 | | | 4 日 | 全国高等専門学校体育大会(バスケットボール)(鳥羽商船) | |
| 5 火 | | | 5 金 | 休業(キャンバスツアー準備) | | 5 月 | | |
| 6 水 | 金曜日の授業 在学生保護者対象授業参観 | | 6 土 | キャンバスツアー | | 6 火 | | |
| 7 木 | 在学生保護者対象授業参観 | | 7 日 | | | 7 水 | | |
| 8 金 | 休業 北陸地区高専体育大会準備 | | 8 月 | | | 8 木 | | |
| 9 土 | 北陸地区高専体育大会(福井高専) | | 9 火 | | | 9 金 | | |
| 10 日 | 北陸地区高専体育大会(福井高専) | | 10 水 | 金曜日の授業 | | 10 土 | | |
| 11 月 | | | 11 木 | 山の日 閉寮(14:00) | | 11 日 | | |
| 12 火 | | | 12 金 | 夏季休業(~9/23) | | 12 月 | | |
| 13 水 | | | 13 土 | | | 13 火 | | |
| 14 木 | | | 14 日 | | | 14 水 | | |
| 15 金 | | | 15 月 | | | 15 木 | | |
| 16 土 | 編入学試験 保護者会総会・保護者懇談会(学生寮) | | 16 火 | | | 16 金 | | |
| 17 日 | | | 17 水 | | | 17 土 | 専攻科ホームカミングデー | |
| 18 月 | 海の日(予備日) | | 18 木 | | | 18 日 | | |
| 19 火 | | | 19 金 | | | 19 月 | 敬老の日 | |
| 20 水 | | | 20 土 | | | 20 火 | 学力強化週間 | |
| 21 木 | 午前:午後の授業 午後:休講 | | 21 日 | | | 21 水 | 学力強化週間 | |
| 22 金 | | | 22 月 | | | 22 木 | 秋分の日 | |
| 23 土 | | | 23 火 | | | 23 金 | 学力強化週間 | |
| 24 日 | | | 24 水 | | | 24 土 | | |
| 25 月 | | | 25 木 | | | 25 日 | 開寮(10:00) | |
| 26 火 | 本科期末試験 専攻科休講 専攻科オリエンテーション | | 26 金 | 全国高等専門学校体育大会(本校野球主管校) | | 26 月 | 本科:後期授業開始 0限目 SHR 専攻科:後期授業開始 0限目 後期ガイダンス (0浪目 8:50-9:15、1浪目 9:20開始 以降20分ずつ後ろ倒し) | |
| 27 水 | 本科・専攻科期末試験 | | 27 土 | 全国高等専門学校体育大会(本校野球主管校) | | 27 火 | | |
| 28 木 | 本科・専攻科期末試験 | | 28 日 | 全国高等専門学校体育大会(本校野球主管校) | | 28 水 | | |
| 29 金 | 本科・専攻科期末試験 | | 29 月 | | | 29 木 | | |
| 30 土 | | | 30 火 | | | 30 金 | (キャンバスリサーチ準備) | |
| 31 日 | | | 31 水 | | | | | |

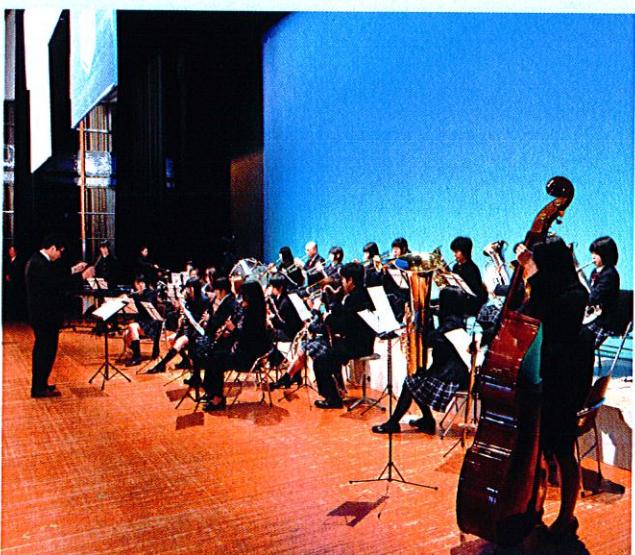
平成28年度行事予定表

◆◆◆ 平成28年度 行事予定表 (後期) ◆◆◆

| 10月 | | 11月 | | 12月 | |
|------|---|------|----------------------------|------|------------------------|
| 1 土 | キャンバスリサーチ | 1 火 | | 1 木 | |
| 2 日 | | 2 水 | | 2 金 | |
| 3 月 | | 3 木 | 文化の日 | 3 土 | |
| 4 火 | | 4 金 | | 4 日 | |
| 5 水 | 防災訓練 | 5 土 | | 5 月 | |
| 6 木 | | 6 日 | | 6 火 | |
| 7 金 | 休講 球技大会 保護者懇談会 | 7 月 | | 7 水 | |
| 8 土 | 全国高等専門学校プログラミングコンテスト(鳥羽商船) | 8 火 | | 8 木 | |
| 9 日 | 全国高等専門学校プログラミングコンテスト(鳥羽商船) 東海北陸地区高等専門学校ロボットコンテスト(富山高専[射水]) | 9 水 | 在学生保護者対象授業参観 | 9 金 | |
| 10 月 | 体育の日 | 10 木 | 在学生保護者対象授業参観 | 10 土 | |
| 11 火 | 金曜日の授業 | 11 金 | | 11 日 | |
| 12 水 | (弁論大会の準備) 放課後:専攻科インターナンシップ報告会 | 12 土 | | 12 月 | |
| 13 木 | 休講 午前:弁論大会 午後:高専祭準備・クリーン大作戦 | 13 日 | | 13 火 | |
| 14 金 | 休講 高専祭 | 14 月 | | 14 水 | |
| 15 土 | 高専祭 | 15 火 | | 15 木 | |
| 16 日 | 高専祭 | 16 水 | クラシックコンサート 短縮授業 | 16 金 | |
| 17 月 | 休講 高専祭後始末 午後:校外実習発表会 | 17 木 | | 17 土 | 全国高専デザインコンペティション(高知高専) |
| 18 火 | | 18 金 | | 18 日 | 全国高専デザインコンペティション(高知高専) |
| 19 水 | | 19 土 | | 19 月 | |
| 20 木 | | 20 日 | 全国高等専門学校ロボットコンテスト(国技館) | 20 火 | |
| 21 金 | | 21 月 | | 21 水 | 授業終了後HR大掃除 |
| 22 土 | 大学・大学院合同説明会 | 22 火 | | 22 木 | |
| 23 日 | | 23 水 | 勤労感謝の日 休業(予備日) | 23 金 | 天皇誕生日 閉寮(14:00) |
| 24 月 | 3年研修旅行 | 24 木 | 後期中間試験 | 24 土 | |
| 25 火 | 3年研修旅行 | 25 金 | 後期中間試験・後期中間まとめ | 25 日 | |
| 26 水 | 遠足(1、4年) 校外研修(2年) 3年研修旅行 交流会(5年) 専攻科交流会(1、2年) | 26 土 | | 26 月 | 冬季休業(~1/6) |
| 27 木 | 3年研修旅行 | 27 日 | | 27 火 | |
| 28 金 | 3年研修旅行 | 28 月 | 後期中間試験 | 28 水 | |
| 29 土 | 社会人特別選抜 | 29 火 | 後期中間試験 | 29 木 | |
| 30 日 | | 30 水 | 後期中間試験・後期中間まとめ(特別活動・卒研を含む) | 30 金 | |
| 31 | | | | 31 土 | |

| 1月 | | 2月 | | 3月 | |
|------|------------------------|------|----------------------------|------|---------------------------|
| 1 日 | 元日 | 1 水 | 放課後:専攻科特別研究II発表会 | 1 水 | 休業 本科5年卒研発表 |
| 2 月 | | 2 木 | | 2 木 | 休業 本科5年卒研発表 5年HR特別学習(低学年) |
| 3 火 | | 3 金 | | 3 金 | 休業 キャリア教育セミナー(予定) |
| 4 水 | | 4 土 | (予備日) | 4 土 | 閉寮(14:00) |
| 5 木 | | 5 日 | | 5 日 | |
| 6 金 | | 6 月 | | 6 月 | 休業 |
| 7 土 | | 7 火 | 本科期末試験 専攻科1・2年期末試験 | 7 火 | 休業 |
| 8 日 | | 8 水 | 本科期末試験 専攻科1・2年期末試験 | 8 水 | 休業 |
| 9 月 | 成人の日 閉寮(10:00) | 9 木 | 本科期末試験 専攻科1・2年期末試験 | 9 木 | 休業 |
| 10 火 | 授業開始 木曜日の授業 | 10 金 | 本科期末試験 専攻科1年期末試験 | 10 金 | 休業 |
| 11 水 | | 11 土 | 建国記念の日 | 11 土 | |
| 12 木 | 休業 国立高等専門学校学習到達度試験(3年) | 12 日 | | 12 日 | |
| 13 金 | | 13 月 | 本科期末試験 専攻科1年期末試験 | 13 月 | 休業 |
| 14 土 | | 14 火 | 本科期末試験 | 14 火 | 休業 |
| 15 日 | | 15 水 | 試験返却・解説 | 15 水 | 休業 |
| 16 月 | | 16 木 | 試験返却・解説 | 16 木 | 休業 |
| 17 火 | | 17 金 | 試験返却・解説 試験返却・解説終了後HR大掃除 | 17 金 | 休業 |
| 18 水 | 放課後:校長表彰・校長講話 学生総会 | 18 土 | | 18 土 | |
| 19 木 | | 19 日 | 学力選抜検査日 | 19 日 | |
| 20 金 | | 20 月 | 休業 | 20 月 | 春分の日 |
| 21 土 | | 21 火 | 特別学習・試験返却・解説 | 21 火 | 学年末休業(~3/31) |
| 22 日 | 推薦選抜検査日 | 22 水 | 特別学習・試験返却・解説 | 22 水 | |
| 23 月 | | 23 木 | 特別学習 | 23 木 | |
| 24 火 | | 24 金 | 特別学習 | 24 金 | |
| 25 水 | 放課後:専攻科特別研究I発表会 | 25 土 | | 25 土 | |
| 26 木 | | 26 日 | | 26 日 | |
| 27 金 | | 27 月 | 特別学習 | 27 月 | |
| 28 土 | | 28 火 | | 28 火 | |
| 29 日 | | | | 29 水 | |
| 30 月 | | | | 30 木 | |
| 31 火 | | | | 31 金 | |

平成27年度卒業式 及び 学生表彰風景



平成28年4月3日発行

☆独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 ☆〒916-8507 鯖江市下司町 TEL 0778-62-1111